

12月1日は世界エイズデー

レッドリボン（赤いリボン）は、世界エイズデーキャンペーンをはじめ、HIVとエイズに関する運動の世界的なシンボルです。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなで考えましょう。

HIV/エイズとは

エイズは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによっておこる病気です。HIV感染＝エイズではありません。HIV検査を受けることではじめて感染の有無を確認することができるのです。



感染経路

1. 性行為による感染

性行為による感染は、最も多い感染経路です。

HIVは感染者の血液・精液・膣分泌液から、その性行為の相手の性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通って感染します。

2. 血液を介しての感染

HIVが存在する血液の輸血や、依存性薬物の“回し打ち”による注射器具の共用などによって感染します。日本では、現在献血された血液は、厳重な検査により最高水準の安全が確保されていますが、きわめてまれとはいえ、感染の可能性を完全には排除できません。

3. 母親から赤ちゃんへの母子感染

母親がHIVに感染している場合、妊娠中や出産時に赤ちゃんに感染することがあります。

日本では、お母さんがHIV感染症の治療薬を飲むことや母乳を与えないことで、赤ちゃんへの感染を1%以下に抑えることができます。

HIV感染・エイズ予防のために

HIV感染経路の約8割は性行為

「コンドームは責任ある性行為に不可欠なもの」です。

正しいコンドームの使用は、HIVだけでなくさまざまな性感染症(STI)の予防になります。

最近、若者の間でSTIの感染が増えています。

一般的に性感染症に感染していると、HIVの感染率は数倍高くなるといわれています。

そして、HIV感染後に他の性感染症に罹患した場合、その性感染症が重症化したり、治るまでに時間がかかるといわれています。

早期の検査・治療を

性行為の後にいつもと違う症状が出たら、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。HIV検査や梅毒検査は保健所で無料かつ匿名で受けることができます。

感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6ヶ月以上継続的に抑えられているHIV陽性者からは、性行為によってHIVが感染することがないことも確認されています。

(『U=U』Undetectable 検出限界値未満 = Untransmittable HIV感染しない)

治療によってHIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できます。

